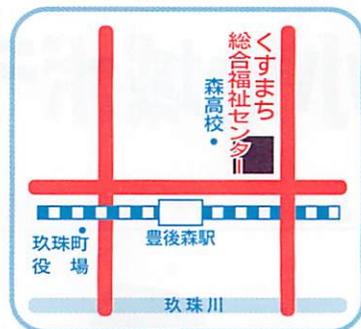


地域福祉だより

No. 53



社協発 めるへん



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

近隣で支えあう ネットワークづくりを 目指して



社会福祉法人
玖珠町社会福祉協議会
会長 秋吉 信隆

「新年のごあいさつ」

ご家族お揃いで輝かしい
新春をお迎えのこととお慶
び申しあげます。

平素から社会福祉協議会
に対し、ご支援ご協力を賜
り、衷心より厚くお礼申し
あげます。

さて、今日、少子・高齢
化が進む中で、身近な生活
環境にも懸念される要素が
増えてきています。

それぞれの地域が連帯と
共生のコミュニティづくり
を急がなければなりません。

社会福祉協議会において
も、「誰もが安心して暮らせ
るまちづくり」をスローガ
ンに、近隣で支えあうネッ
トワークを組織し、個々の
生活課題の解決のため、住
民主役のまちづくりを進め
ている行政と連携し、役職
員一同、懸命に努力してま
います。

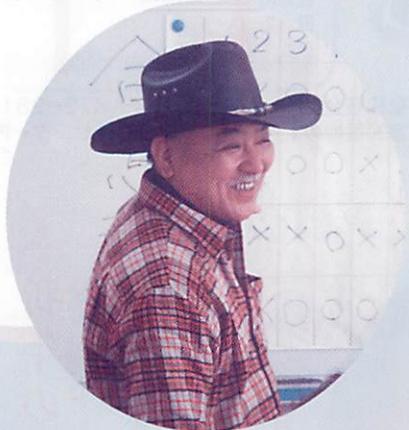
また、事務事業の見直し、
新しい福祉課題への体制の
整備と経営基盤の強化す
るための「組織」「財政」
「事務局」等の整備、そして
制度改革への対応を図って
まいります。

つきましては今後も本会
の福祉事業にご理解を賜り、
町民皆様のご支援とご協力
を重ねてお願い申し上げます。
新年のあいさつといたします。



支えあうまちづくり関連事業 小地域ボランティアリーダー養成講座

開催中



第1回目の講師の菊池先生。
気さくな人柄で
楽しく講義が進みました。



多くの方が参加しました。

講義を受けるというより
自分たちで学ぶという感じです。



グループ協議では真剣さの中にも
和気あいあいとした雰囲気。

玖珠町社会福祉協議会では玖珠町より委託を受けてボランティアリーダー養成講座を開催しています。

この講座は地域でいきいきサロン等を開催し、お互いを支えあう自発的な取り組みを支援することを目的に開催していきます。

全5回の講座は講義だけでなく、実際に体を動かしてレクリエーションの指導方法を学んだり、作業療法士の方をお招きして高齢者・障がい者の運動能力について実践を交えて講習を受けたりと様々なメニューを用意しています。

この講座を通じて地域で活動を実践する方が一人でも多く出てくるよう事業展開を進めていきたいと考えています。

母親クラブプリン



母親クラブは平成十五年に発足しました。春の芋植えに始まり、三島公園の遊具の点検、交通安全教室、秋の芋の収穫と農業祭での販売研修旅行、クリスマス会等の行事を行っています。特に楽しみなのが研修旅行で、

去年はみどり王国と竹田城址に行きました。みどり王国ではプリンのできるまでを見学し、レーンを流れて次々に製品になるのを見て、子ども達が「すげー、すげー。」を連発していました。



このような行事を通して、食の大切さ、人や物への感謝の気持ちや協力することの難しさなどを子ども達が学び、心も体も健全に育ってくれることがわたしたちの願いであり喜びでもあります。

連絡先

大久保豊子

72-13237

ファミリーサポートセンターを利用して「よろしく会員」の方より嬉しいお手紙をいただきました。

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

去年は私たち家族にとって子育てサポートの皆さんはとても大切な光でした。

今年もたくさん、たくさん子どもも甘えたり困らせたり・・・すると思いますが、どんな時も私に道しるべをつくってください。よろしくお願いします。

M・Hさんより

以上の内容のお手紙でした。ファミリーサポート事業が単なる支援にとどまらず、支援を必要とする家族の心の支えになっていることに感動しました。

軽度生活援助事業

援助員さん大募集!

健康で明るくボランティアに意欲のある人募集中

お待ちしております!



高齢者の一人暮らし等のお宅に私用車で出向いて、家の中の掃除や洗濯、買物等のお手伝いをしていただくお仕事です。

まとまった時間は取れないけど1~2時間は協力できるという方、何かボランティアをしたいけど何をしたらいいかわからない方など、興味がございましたら社会福祉協議会までお知らせください。

多くの方のご連絡お待ちしております。

(報酬) 1時間あたり650円

遠距離の場合は交通費を支給します

その他、詳しくは社会福祉協議会(72-5513)まで

玖珠町歳末たすけあい募金

個人・団体から
職場・自治会

善意の879,986円

(平成18年1月27日現在)

昨年の暮れ、“みんなでささえあうあったかい地域づくり”をテーマに赤い羽根共同募金の一環として行った「地域歳末たすけあい募金運動」は、個人・団体・職場・自治会の皆様から多くのご協力を頂きました。

皆様から寄せられました善意は、平成18年12月28日に地区の民生委員の方々によって、下記の通り届けられました。

また募金の一部は、一人暮らし高齢者と婦人会と民生委員の交流事業にも使用させていただきますことをご報告いたしまして歳末募金運動のお礼に代えさせていただきます。誠に有難うございました。(地域歳末たすけあい募金事務局－玖珠町社会福祉協議会)



お届け先	内容	小計
・在宅寝たきり老人	20人× 5,000円	100,000円
・80歳以上の老夫婦世帯	21世帯× 10,000円	210,000円
・在宅1級障害児(者)	25人× 5,000円	125,000円
・在宅重度知的障害児(者)	9人× 5,000円	45,000円
・乳幼児を抱える母子世帯	2世帯× 10,000円	20,000円
・18歳未満を抱える父子世帯	6世帯× 10,000円	60,000円
・鷹巣学園児童	果物	30,000円
・シルバー独身者ふれあい会開催事業費	町内5カ所	239,986円
・事務費		50,000円

※ 生活保護世帯は、期末一時金が支給されましたので歳末見舞からは除きます。



全国社会福祉協議会会長表彰受賞

玖珠町民生児童委員協議会長 小溪正由氏

おめでとう
ございます



「広げよう、地域にねが
した、思いやり」の心で
活動して行きます。
心配ごとなど、お近く
の民生児童委員に相談を
下さい。

今年度は、全国社会福祉協議会の表彰において、玖珠町民協の会長である小溪正由氏が会長表彰を受賞いたしました。この賞は民生児童委員としての活動が十五年以上有り、その活動が優秀であると認められる方が受賞されます。今回受賞された小溪会長には、その活動に敬意を表しますと共に、今後の取り組みを応援していきたいと思っております。

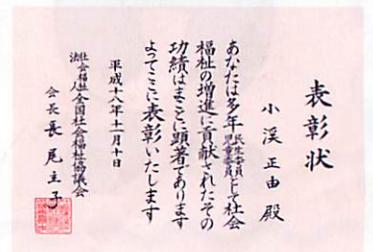
今年度は、日本に民生委員制度が創設されて90周年となります。永い歴史の中で福祉の向上に諸先輩が活躍を下さいました。私が民生児童委員を委嘱されて20年を経ました。

この間社会状況は少しずつ変わり、核家族化、少子化と進み、長寿高齢社会となつて来しました。

福祉も様々な分野にわたり、現在は在宅生活の充実強化が求められています。

更に独り暮らしが増えて来しました。しかし地域の皆さんの声掛け目くばりで住みよい町となります。

今年度、全国社会福祉協議会の表彰において、玖珠町民協の会長である小溪正由氏が会長表彰を受賞いたしました。この賞は民生児童委員としての活動が十五年以上有り、その活動が優秀であると認められる方が受賞されます。今回受賞された小溪会長には、その活動に敬意を表しますと共に、今後の取り組みを応援していきたいと思っております。



社会福祉協議会へ



(平成18年11月28日
～平成19年1月30日)

香典返し

田代	上庄	道ノ	笹ヶ	古後	戸の	田の	中塚	鹿倉	古後	山の	滝の	小麦	小野	錨田	春日	坂口	古後	中塚	天塚	上田	早水	逢坂
乙迫	屋迫	ノ迫	ヶ原	後道	の畑	の口	塚脇	倉森	後原	の口	の原	河野	野	田	町2-1	口	後原	塚	塚	新町	水	坂
金藤	尾方	田中	藤原	横山	山本	迫キ	日隈	森英	柳井	高田	鳥越	佐藤	小川	宮永	衛藤	柳井	梶原	後藤	後藤	田邊	後藤	井上
サヨ	三夫	正美	政勝	恵美	巖章	ミエ	紀生	俊様	田宝	喜代	由美	保夫	敬文	ムツ	優様	邦義	博之	忠則	定夫	万寿	上功	功様

ありがとうございました



おおい国体マスコットキャラクター「めじろん」

本人の了承を得て掲載しています

JA玖珠九重稲作研究会様

物品寄付

他 匿名 3 件

チャリティーショー実行委員会様

玖珠町歳末たすけあい

玖珠郡手をつなぐ会 太田和孝様

北山田小学校児童会様

八幡小学校児童会様

池の原 上島光則様

寄付金

小 杉 塚 半田岩男様

城 佐藤良孝様

おいしいお米ありがとうございました

JA玖珠九重稲作研究会より
お米いただきました



目録贈呈の様子

昨年12月27日にJA玖珠九重稲作研究会よりお米60kgを社会福祉協議会にいただきました。

これは地域貢献活動の一環として行なわれたもので、今回が初めての寄贈とのこと。当日は石井龍文部会長を初め5人の方が事務所を訪れ、「玖珠のお米はおいしいと言われています。是非福祉の役に立ててください。」と秋吉信隆社協会長に目録を渡されました。社協では今回いただきましたお米は、デイサービスの食事に使わせていただきました。稲作研究会の皆様、誠にありがとうございました。

日	月	火	水	木	金	土
3月・4月の スケジュール				3/1 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	2 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター)	3 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
4 ■玖珠地区ふれあい会 (福祉センター)	5 ■老人福祉センター 休館日 ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター)	7 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■巡回相談会 (北山田自治会館)	8 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター)	9 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■点字学習会 (福祉センター)	10 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
11	12 ■老人福祉センター 休館日	13 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■巡回相談会 (メルサンホール)	14 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター)	15 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■給食サービス	16 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター)	17 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
← 老人クラブ シルバー作品展 (老人福祉センター) →						
18	19 ■老人福祉センター 休館日	20 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター)	21 (春分の日) ■ふれあい福祉バス (鳥屋線)	22 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター)	23 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■巡回相談会 (玖珠自治会館) ■点字学習会 (福祉センター)	24 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
25 ■給食サービス	26 ■老人福祉センター 休館日	27 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	28 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター)	29 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■巡回相談会 (八幡自治会館)	30 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター)	31 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
4/1	2 ■老人福祉センター 休館日	3 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター)	4 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線)	5 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター) ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線)	7 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
8	9 ■老人福祉センター 休館日	10 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	11 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター)	12 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	13 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター) ■点字学習会 (福祉センター)	14 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
15 ■給食サービス	16 ■老人福祉センター 休館日	17 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター)	18 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■法律相談会 (福祉センター要予約)	19 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター)	20 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線)	21 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
22	23 ■老人福祉センター 休館日	24 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	25 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター) ■給食サービス	26 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	27 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元氣教室 (老人福祉センター) ■点字学習会 (福祉センター)	28 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
29 (昭和の日)	30 (振替休日)	<p>・4月以降の巡回相談会の日程につきましては未定となっておりますので、 決まり次第みなさんにお知らせいたします。</p>				

みなさんの声募集中

めるへんでは皆様の声を募集
しています。紙面に関するご意
見、ご質問又は福祉に関する疑
問など何でもOK。もし何かござ
いましたら玖珠町社会福祉協議
会までお寄せ下さい。

編集後記

新春あけまして
おめでとございます。
今年もよろしくお願
い
いたします。

この「情報誌めるへん」
もみなさんの身近で役に立
つ誌面作りを心掛けていき
たいと考えておりますので、
是非引き続きご愛読願
い
致します。

さて、一年の計は元旦に
ありますが、みなさん今年
は良い年になるようお願い
しているのではないですか。
しかしちょっと考えてみ
て下さい。ほんの二ヶ月
前までは年末で一年の反省
をしていましてしたか？
その反省を忘れて計画を立
ててはいけません。旧年を
振り返り、やりたいこと、
やれないこと、繰り返して
はいけないことなど、よく
考えて計画を練ることをお
勧めします。それが美りの
ある一年を送る上で大切な
ことではないでしょうか。
なにはともあれ今年一年、
皆様方が素晴らしい日々を
お送りになら
れることをお
祈りいたしま
す。(事務局)

